

令和3年4月27日
国土交通省中部地方整備局
沼津河川国道事務所

記者発表資料

国道414号 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路（Ⅱ期）
（仮称）河津IC～（仮称）逆川IC間
令和4年度に開通予定

1. 概要

国道414号 伊豆縦貫自動車道河津下田道路（Ⅱ期）は、豊かな自然による風光明媚な景観や温泉などの観光資源に恵まれた伊豆地域の観光支援、災害時の緊急輸送道路の機能向上や救急医療活動の支援などを目的に計画された道路です。

今般、防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム※において、河津下田道路（Ⅱ期）のうち、（仮称）河津IC～（仮称）逆川IC間（延長3.0km）では、新たに開通見通しを公表しましたので、お知らせします。

一日も早い開通に向け、引き続き安全に配慮しながら事業を進めて参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

※「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月11日閣議決定）に位置づけられた目標や事業規模等を踏まえ、5か年の具体的な事業進捗見込み等を示し、計画的な事業執行に取り組むとともに、周辺の開発事業等との連携を図りながら、対策の効果をより一層高めることを目的に策定したものと

【開通見通しお知らせ箇所】

- <開通時期> 令和4年度開通予定※ ※トンネル工事が順調に進んだ場合
<開通箇所> 国道414号 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路（Ⅱ期）
（仮称）河津IC～（仮称）逆川IC間（延長3.0km）
<事業区間> 賀茂郡河津町梨本～下田市箕作（延長6.8km）

2. 添付資料： 概要、工事進捗状況、開通により期待される効果……別紙①～④

3. 配布先： 静岡県政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ、下田記者クラブ

4. 問い合わせ先： 〒410-8567 沼津市下香貫外原 3244-2

国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所

副所長(道路) 小川 喜睦 計画課 野本 高視

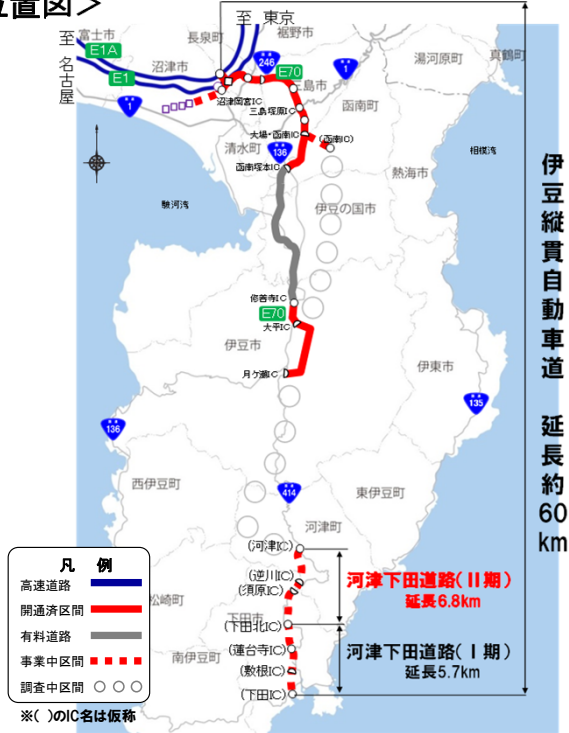
TEL 055-934-2010

FAX 055-934-2015

事務所 HP <https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>

一般国道414号 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路(Ⅱ期)の概要

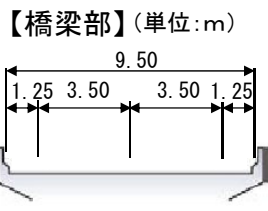
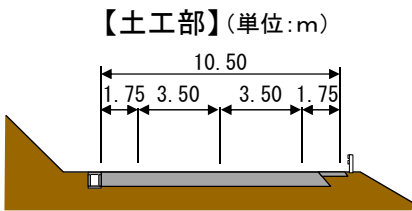
<位置図>



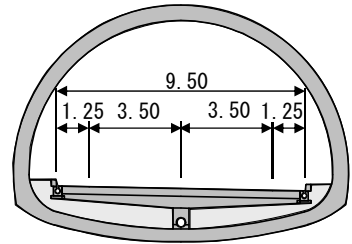
<計画諸元>

路線名	一般国道414号
区 間	起)静岡県賀茂郡河津町梨本 終)静岡県下田市箕作
延 長	6.8km ※令和4年度 開通予定: (仮称)河津IC~(仮称)逆川IC 3.0km
幅 員	【橋梁部、トンネル部】 9.5m(2車線)
	【土工部】 10.5m(2車線)
規 格	第1種第3級 設計速度80km/h

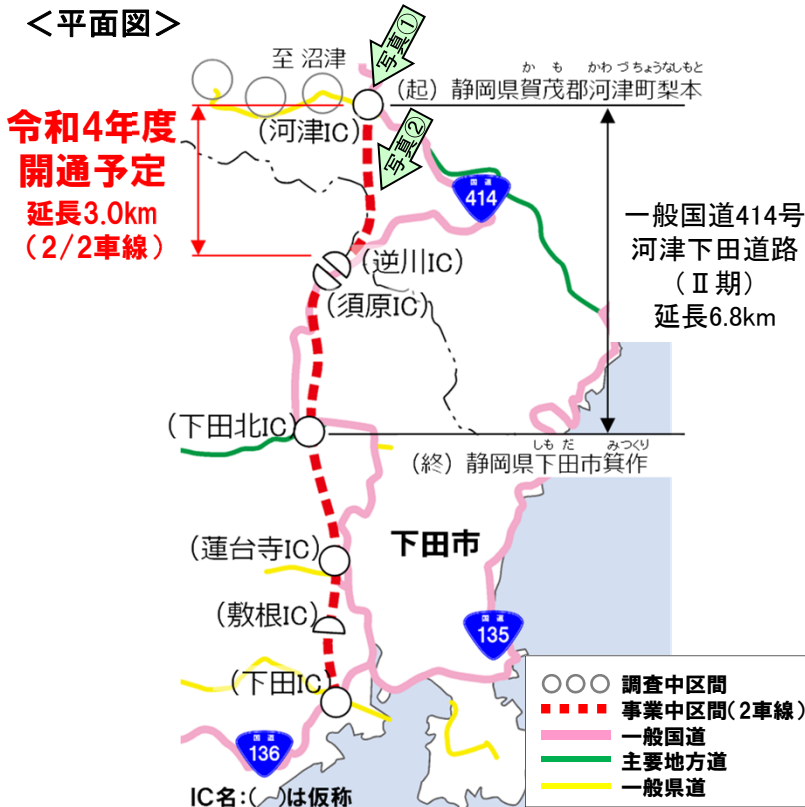
<標準横断面図>



【トンネル部】(単位:m)



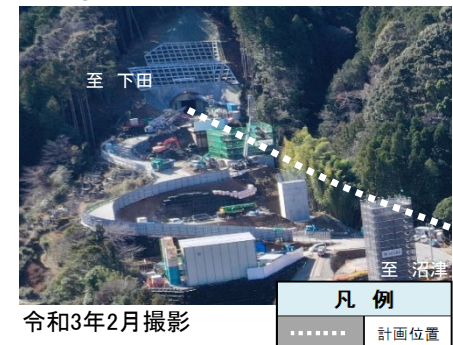
<平面図>



[写真①] (仮称)河津IC付近



[写真②] (仮称)河津トンネル付近



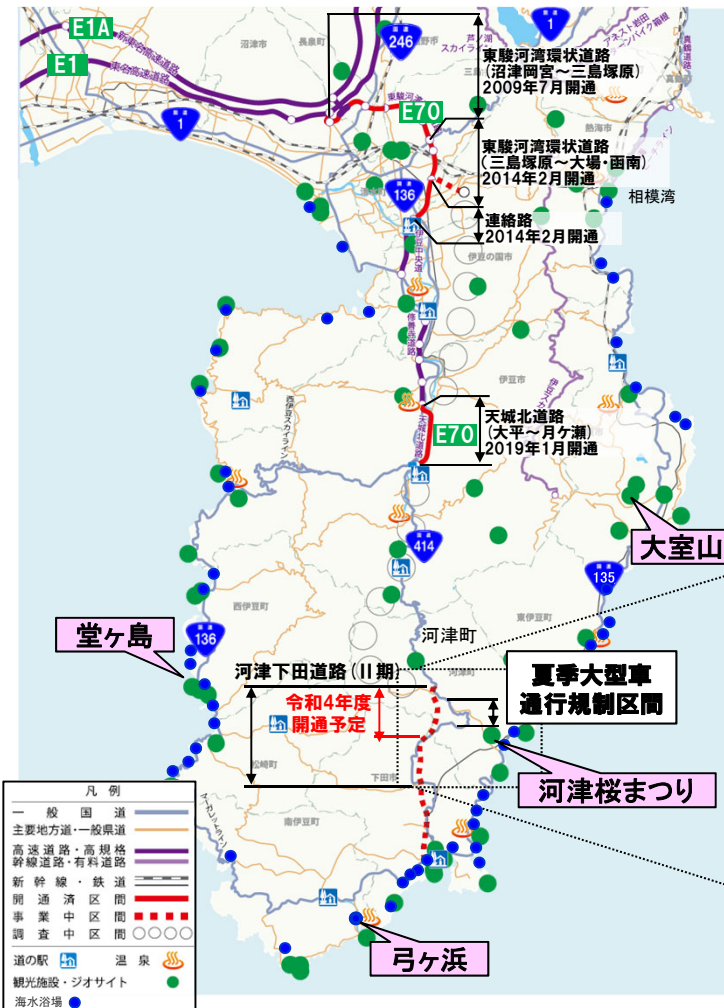
開通により期待される効果①

別紙②

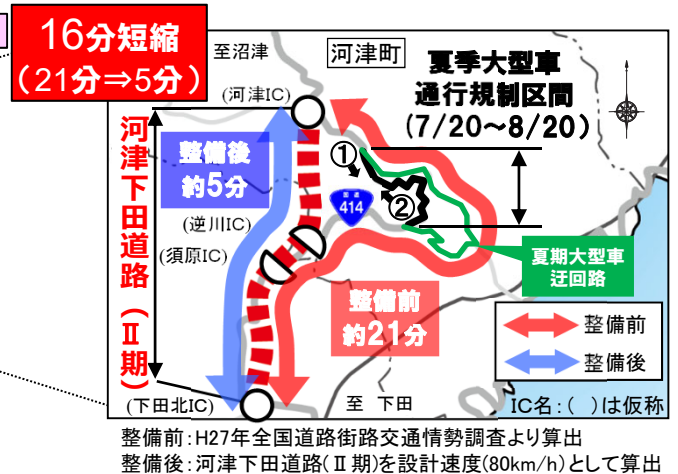
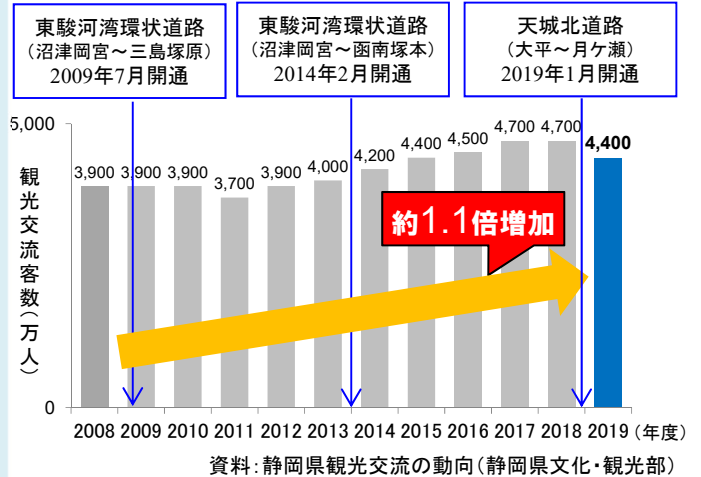
＜地域活性化の支援(観光)＞

- 伊豆地域の2019年度観光交流客数は、東駿河湾環状道路、天城北道路の開通後、約1.1倍に増加しています。
- 河津下田道路(Ⅱ期)の整備により、観光バスを含む夏期大型車通行規制区間の迂回解消及び時間短縮が図られ、アフターコロナの観光回復に寄与することが期待されます。

○伊豆地域の観光施設



○伊豆地域の観光交流客数の推移



【河津桜まつりの様子】



河津桜まつりで賑わう花見客(2018.3.4)

【大室山】



出典: 静岡県観光協会

【堂ヶ島】



出典: 西伊豆町観光協会

【弓ヶ浜海水浴場】



出典: 南伊豆町観光協会

写真①大型車すれ違い状況



写真②大型車のすれ違い状況



河津下田道路(Ⅱ期)の並行現道は、小さなカーブが多く道幅が狭いため、対向車とのすれ違いが困難であり、別の経路を利用しています。河津下田道路の整備は、走行性の向上や時間短縮等が期待されます。

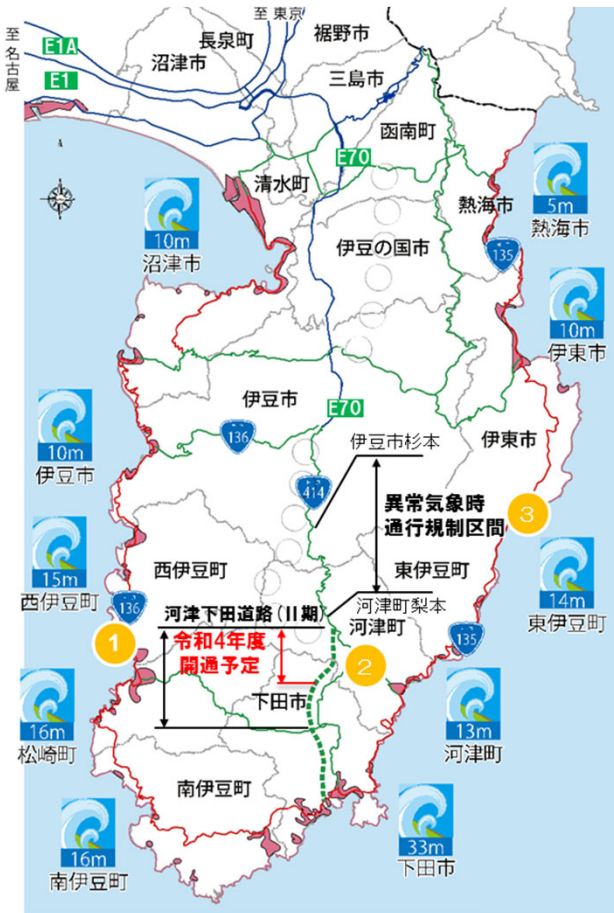
出典: バス会社ヒアリング結果(2019年11月)



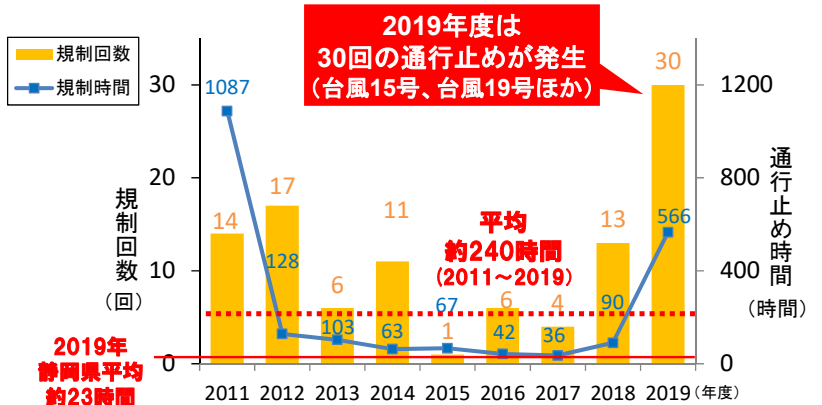
開通により期待される効果②

＜災害時の緊急輸送道路の機能向上＞

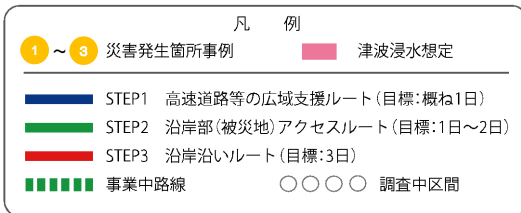
- 伊豆地域の太平洋沿岸部は、南海トラフ地震発生時には津波浸水被害が想定される地域です。
- また、近年の台風や大雨により、沿岸部や内陸部の国道が被災しており、平均約240時間(2011～2019)の通行止めが発生しており、河津下田道路(Ⅱ期)の並行区間である国道414号も法面崩壊等による通行止めが発生しています。
- 河津下田道路(Ⅱ期)の整備により、東名・新東名高速道路から広域的な災害に強い救命・救急ルートを確保することで、災害時の緊急輸送道路として迅速な活動を支援します。



○国道135号、国道136号、国道414号の通行止め実績

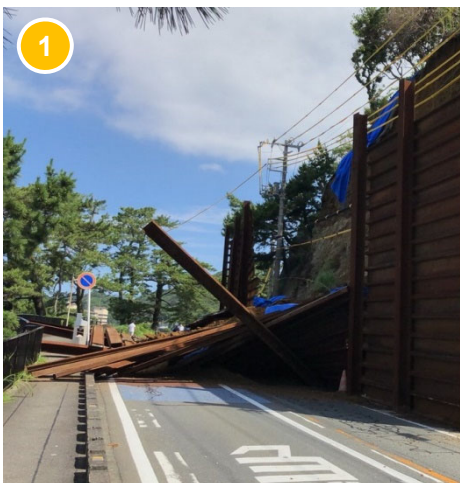


出典：静岡県通行規制実績(沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所)
※国道414号は旧道除く



出典：中部版「くしの歯作戦」(2019.5)
：津波高 静岡県第4次地震被害想定 レベル2
南海トラフ巨大地震の最大津波高さ(2015.1)
：津波浸水想定 静岡県(2020.3)

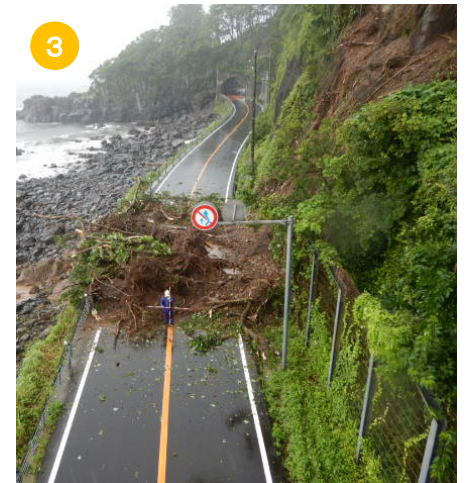
○台風、大雨等による伊豆南部の法面被災状況



【国道136号 法面崩壊】
(2020.7 西伊豆町仁科)



【国道414号 法面崩壊】
(2015.9 河津町峰)



【国道135号 法面崩壊】
(2020.7 伊東市赤沢)

開通により期待される効果③

＜救急医療活動の支援＞

- 伊豆地域では、高度な受診治療が可能な第三次救急医療施設が伊豆の国市に存在しています。
- 現状、伊豆南部地域から第三次救急医療施設へ患者を搬送する際、1時間以上の搬送時間が必要です。
- 伊豆縦貫自動車道整備により、第三次救急医療施設までの1時間到達圏域が拡大され、救急医療活動を支援します。

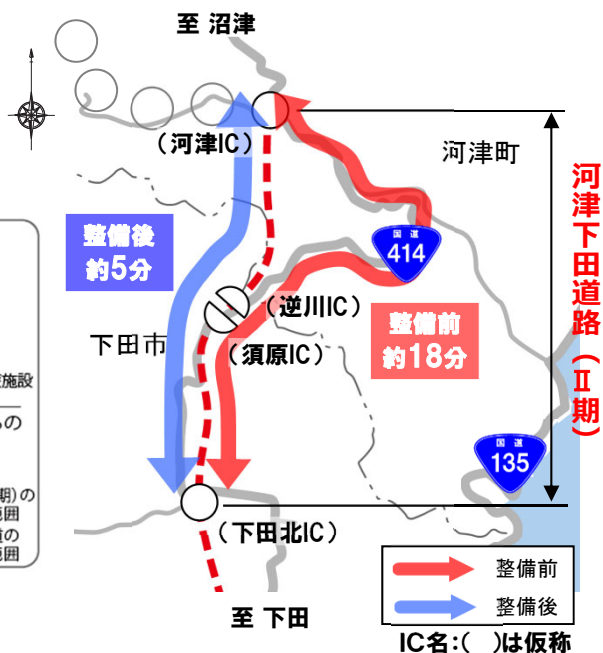
○第三次救急医療施設1時間到達圏の拡大



○救急救命率の向上

【下田市から多量出血で搬送の例】

心臓停止や、呼吸停止、多量出血後は時間の経過とともに死亡率が上昇するため、一刻も早く救急病院に搬送する必要があります。



出典：H27年全国道路街路交通情勢調査より各市役所・役場を起点として算出

【天城北道路を走行する救急車】



2019年1月撮影

整備前：H27年全国道路街路交通情勢調査より算出
整備後：河津下田道路(Ⅱ期)を設計速度(80km/h)として算出

順天堂大学医学部附属静岡病院への重病人の搬送に1時間以上の時間を要しています。
伊豆縦貫自動車道が整備されれば、搬送時間が短くなり、生命に関わる危機が低下することを期待しています。

出典：下田市ヒアリング結果(2019年10月)

